

# 平成28年度 自然観察会 実施報告 HP用

四日市自然保護推進委員会

回数	第 2 回	参加者数	52 名 参加団体 ( なし )	
テーマ	新緑の里山散策			
実施日	平成28年5月8日	天候	晴れ	
場所	南部丘陵公園 南ゾーン			
コース	開会時刻 ( 10 : 00 ) 小動物園北側広場 [一般コース] →ピクニック広場 →昆虫観察園 →北沿い道路 →東屋 →芝生の広場 解散時刻 ( 11 : 55 ) [バリアフリーコース] →ピクニック広場 → 芝生の広場 解散時刻 ( 11 : 15 )			
<b>観察会の概要</b> ・昆虫や鳥を中心に観察会を行いました。天気も良く、大勢の参加者がありました。小さい子供連れの家族やお年寄りと一緒に家族がバリアフリーコースへ参加されました。 ・観察途中で、ハチに刺された子供がいました。応急処置を行い、その後、電話連絡で異常がなく元気であることを確認しました。 ・鈴鹿市 (3家族8人)、桑名市 (1人)、弥富町 (2人) など、市外からもチラシやホームページで観察会を知り、参加してくれました。				
<b>参加者の感想・声など</b> ・二ホンミツバチが珍しかった。 ・楽しく観察できた。良い経験になった。 ・かっこいい虫が捕れて喜んでいました。ありがとうございました。 ・初めてバリアフリーコースを歩きました。ゆったり歩けたが、鳥の先生がいなくて残念でした。(→すみません。鳥の先生はいましたが、周知不足でした。) ・サルトリイバラの芽先の天ぶらをしてみたいと思いました。				

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）	
観察物の花期、出現期などの状況	
植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツツジ、キショウブ、シロツメクサの花のつくりについて説明をしました。また、カラスノエンドウの実を使って、草笛をつくりました。</li> </ul> <p>ヒラドツツジ、ニワゼキショウ、ブタナ、キショウブ、シロツメクサ、スイバ、キツネアザミ、ヤブヘビイチゴ、ヘビイチゴ、ヒメコバンソウ、カラスノエンドウ、コナラ、オオジシバリ、ヒメジョオン、ハルジオン、ヤブカンゾウ、ハンノキ、カモジグサ、ニガナ、オヘビイチゴ、アラカシ、ハリエンジュ、ヤマフジ</p>
昆虫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミツバチに刺された子がいました。うっかり手を出さないよう、注意が必要だと思いました。</li> <li>・ミノムシについて説明しました。</li> <li>・木の幹にいる毛虫について、触れないように注意しました。</li> </ul> <p>アゲハチョウ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキアゲハ、キタキチョウ、ヒメウラナミジャノメ、サトキマダラヒカゲ、ダイミョウセセリ、ヤマトシジミ、ムラサキシジミ、アオスジアゲハ、キマダラミヤマカミキリ、コアオハナムグリ、オビカレハ（幼虫）、オオスズメバチ、クマバチ、ジョウカイボン、ハルゼミ、カラスアゲハ、クロスジギンヤンマ、ギンヤンマ、シオヤトンボ、シオカラトンボ、オオイシアブ、キノコヒモミノガ（蓑）、ニホンミツバチ（巣）、セグロアシナガバチ、ヒメジャノメ、オトシブミ、ケバエ</p>
野鳥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏鳥がやってくる季節です。南部丘陵公園でも、朝早くに観察すると多くの鳥の声を聞くことができます。</li> </ul> <p>カワラヒワ、ハシボソガラス、メジロ、ホオジロ、ツバメ、スズメ、ムクドリ、カルガモ、シジュウカラ、ツツドリ（珍）、コゲラ、ウグイス、ヒヨドリ、カワセミ、ハシブトガラス、ヤマガラ、アオジ、キビタキ、キジバト、オオタカ、センダイムシクイ、コジュケイ</p>
地学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四日市の地質についての説明しました。</li> <li>・空に環水平アークが見られました。</li> </ul> <p>地質図、地層のでき方、四日市ドーム構造、断層（四日市断層、四日市港断層）、地震</p>
クモ	<p>ゴミグモ、コアシダカグモ、ザトウムシ類、オオシロカネグモ、クロガケジグモ、コクサグモ</p>

#### クロスジギンヤンマ

丘陵地の木が生い茂るような暗い池や、山間の池などに生息します。平地の開放水面をにいたるギンヤンマとは棲み分けをしています。

